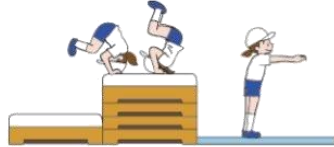
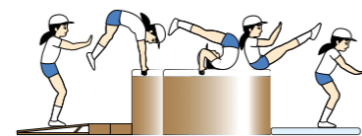
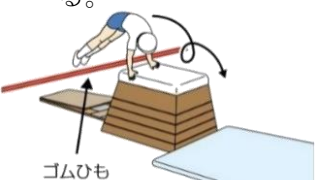


時	1	2	3	4	5	6	7	8
目標	【知識及び技能】 跳び箱運動では，その行い方を知るとともに，自己の能力に適した回転系の技（台上前転）に十分に取り組んだ上で，それらの発展技である伸膝台上前転に取り組むことができるようにする。 【思考力，判断力，表現力等】 自己の能力に適した課題を見付け，技ができるようになるための活動を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができる。 【学びに向かう力，人間性等】 運動に進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，友達の考えを認めたり，場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができるようにする。							
コア技術	① 強く踏み切り，腰を高く上げている。 ② アゴロック（あごを引いて背中を丸めること）をしている。							
めあて	技を知り，学習の見通しをしよう。	両足で強く踏み切って前転をしよう。	後頭部をついて，まっすぐに前転をしよう。	着地を意識して跳び箱の上で前転をしよう。	台上前転をしよう。	自分に合った場を考えて，練習しよう。	友だちのいいところを見つけよう。	発表会をしよう。
指導内容	1. 準備運動(加茂小体操) 2. マットの上で前転 3. セーフティマットの上で前転  ※ 「トン・トン・トン！」のリズムで一気に腰を上げる。 ※ 踏切板の上で数回跳ね，腰の位置を高くあげる感覚をつかむ。 4. 1歩助走（ケン・グー！のリズム）で前転  ① 一歩分下がった場所から片足で踏切板に両足で跳び乗る。 ② あまり膝を曲げないようにして，できるだけ腰が高く上がるようにする。 かかわりあい 声かけ ・ 踏み切る際「トン・トン・トーン！」と声をかける。 4. 学習のまとめ 5. 振り返り	1. 準備運動(加茂小体操) 2. カラーマットの上に線を付けたマットでまっすぐに前転する練習 3. 1歩助走（ケン・グー！のリズム）で前転 ※ 線を付けたマットでまっすぐに前転できるように目を開けさせる。 ① 一歩分下がった場所から片足で踏切板に両足で跳び乗る。 ② あまり膝を曲げないようにして，できるだけ腰が高く上げて，おへそを見る。 かかわりあい 声かけ ・ 「せーの ケン・グー！」と声をかけてやる。 ・ 回っている間目が開いていたかを取り組んだ後に伝える。 4. 学習のまとめ 5. 振り返り	1. 準備運動（加茂小体操） 2. 跳び箱の上から前転して下りる  3. 1歩助走（ケン・グー！のリズム）で1～2段の跳び箱上で前転をする。  4. 学習のまとめ 5. 振り返り	1. 準備運動（加茂小体操） 2. 幅に応じた前転② ① 3段の跳び箱に1段の踏み台をつけての前転 ② 4段の跳び箱に1段の踏み台をつけての台上前転 ③ 4段の跳び箱での腰上げ台上前転（踏切板） ④ 4段の跳び箱で助走ありの台上前転  4. 学習のまとめ 5. 振り返り	1. 準備運動（加茂小体操） 2. 幅に応じた前転② ① 3段の跳び箱に1段の踏み台をつけての前転 ② 4段の跳び箱に1段の踏み台をつけての台上前転 ③ 4段の跳び箱での腰上げ台上前転（踏切板） ④ 4段の跳び箱で助走ありの台上前転  3. レベルに合わせた練習 ① 段差連結跳び箱を設定する。 ② 腰を高く上げ，膝を伸ばしながら回転する。  4. 学習のまとめ 5. 振り返り	1. 準備運動（加茂小体操） 2. レベルに合わせた練習 ※ 大きな台上前転の練習 ※ ゴムひもを使って，強く踏み切り腰を高く上げる動作を身に付ける。   台上前転  伸膝台上前転 3. 学習のまとめ 4. 振り返り	1. 準備運動（加茂小体操） 2. 発表会 V T Rの確認 技の出来映えについて助言し合う。 3. 学習のまとめ 4. 振り返り	
	指導上の留意点	セーフティマット上であれば恐怖心を感じる児童はほとんどいないとは思いますが，それでも高さに恐怖心を感じるような児童がいれば【重ねたマット】の場を設定し，恐怖心が少しずつでも取り除けるような工夫をする。 		○ 怖くて跳び乗ることができない より低い高さで挑戦し，だんだん高さを高くする。 怖くて跳び下りることができない 低い高さで挑戦し，それでも怖い児童には教師がついて補助する。 		○ 跳び箱からの落下が怖い セーフティマットや通常のマットを横にしくことで落ちた時の恐怖をなくす。 ○ iPad を使って自分の技を見て何ができていて何ができていないかを話し合う。また，できている子の動画を見てなぜできているかを話し合う。		大きな台上前転とは ① 助走から両足で強く踏み切る。 ② 腰を大きく開くとともに膝を伸ばした姿勢で着手しする。 台上で回転して着地をする。
知	② 観察・ICT					② 観察・ICT	① 観察	
思		① 観察					① 観察	
態	③，④ 観察		① 観察・カード	② 観察・カード				

単元の評価規準

【台上前転（跳び箱運動）】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 台上前転の行い方について，言ったり書いたりしている。 ② 助走から両足で踏み切り，腰の位置を高く保って着手し，前方に回転して着地することができる。	① 上手くできたところやできなかったところを，学習カードや掲示物などの連続図に目印や色をつけたり，シールを貼ったりして，自己の能力に適した課題を見付けている。 ② 手の着く位置や着地する位置，目線が向く場所などに目印をして，技のできばえを振り返り，自己の能力に適した課題を解決しやすい練習の場を選んでいる。 ③ 友達の手の着く位置や着地する位置，目線が向く場所に目印を置いて，動きのできばえを友達に伝えたり書いたりしている。	① 台上前転に進んで取り組もうとしている。 ② 場の正しい使い方や試技をする前の待ち方，技を観察するときなどのきまりを守り，誰とでも仲よく励まし合おうとしている。 ③ 場の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ④ 動きや気付いたことを伝え合う際に，友達の考えを認めようとしている。 ⑤ 場の安全に気を付けている。

【単元の評価規準を基にした「十分満足できる姿」】

（１）知識・技能

単元の評価規準	「十分満足できる姿」
① 台上前転の行い方について，言ったり書いたりしている。	・ 台上前転の留意点を友達や教師に詳しく伝えたり，カードに書いたりすることができる。
② 助走から両足で踏み切り，腰の位置を高く保って着手し，前方に回転して着地することができる。	・ 助走から両足で強く踏み切り，腰の位置を高く保って着手をすることで第一空間を大きくすると同時に伸膝のまま回転して着地する伸膝台上前転ができる。

（２）思考・判断・表現

単元の評価規準	「十分満足できる姿」
① 上手くできたところやできなかったところを，学習カードや掲示物などの連続図に目印や色をつけたり，シールを貼ったりして，自己の能力に適した課題を見付けている。	・ 台上前転を習得するためにはどのような動きが必要かを考え，課題に応じて試行錯誤しながら取り組んでいる。
② 手の着く位置や着地する位置，目線が向く場所などに目印をして，技のできばえを振り返り，自己の能力に適した課題を解決しやすい練習の場を選んでいる。	・ 手の着く位置や着地する位置，目線が向く場所などに目印をして，技のできばえを振り返り，自己の動きをよりよくする行い方を選んでいる。
③ 友達の手の着く位置や着地する位置，目線が向く場所に目印を置いて，動きのできばえを友達に伝えたり書いたりしている。	・ 友達のよい動きの特徴を，擬態語や身振りなど多様な表現を用いて具体的に友達に伝えたり，カードに書いたりしている。

（３）主体的に学習に取り組む態度

単元の評価規準	「十分満足できる姿」
① 台上前転に進んで取り組もうとしている。	・ 台上前転への習得に向け多様な行い方を進んで試している。
② 場の正しい使い方や試技をする前の待ち方，技を観察するときなどのきまりを守り，誰とでも仲よく励まし合おうとしている。	・ 自分が楽しむだけでなく，グループの友達を励ましたり，応援したりしている。
③ 場の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。	・ 場の準備や片付けを率先して行っている。
④ 動きや気付いたことを伝え合う際に，友達の考えを認めようとしている。	・ 動きや気付いたことを伝え合う際に，友達の課題を自分事として捉えその解決方法を考えている。
⑤ 場の安全に気を付けている。	・ 自分のことだけでなく，周囲の安全にも気を配っている。

※ 学習指導要領解説の技の例示とは異なった学年で授業を計画しています。その理由は以下の２点です。

- ① 器械運動の技を系統的・段階的に習得するため。
- ② 器械運動の授業を学年間で偏りなく行うため。